



▲ 石川市民病院の看護婦たち



▲ 貴重な写真を手渡すウォルター氏（前列左）

戦後復興の足跡... 6/14



▲ 石川収容所にあった孤児院の様子

戦後、避難民収容所となっていた旧石川市で、住民の手当や地元看護婦への指導を行っていたウォルター・ストジャノウスキー氏（ニューヨーク在住）が、うるま市を訪れ当時撮影した写真（約300点）を知念市長へ手渡しました。写真には孤児院、石川市民病院、刑務所などの施設や、娯楽の中心であった芸能大会など当時の住民の様子が多数写されており、戦後の石川を知る貴重な資料となっています。

60年ぶりに沖縄の地を訪れたというウォルター氏は、旧石川市の病院跡や沖縄諮詢会堂跡などを巡り、「当時の沖縄の悲惨な状況など、いろいろな思い出がわき上がり悲しくなった」と語りました。



▲ 大物賞市議会議長賞の大城祥一さん（4.3 kgのウムナガ）



▲ 沖釣り大会での1日の成果



▲ うるま市長賞を受賞したリフォームかねよしの皆さん

勝連商工会最後のチャリティー沖釣り大会 8/27

合併に伴い、最後の大会となる市勝連商工会青年部（前徳学部長）主催の第23回チャリティー沖釣り大会が平敷屋漁港で開催されました。

大会には、市内外から8人を一組とした15チームが参加。各チームとも大物賞、重量団体賞を目指し、午前8時過ぎ意気揚々と漁船に乗り込み出港。午後5時に漁船が次々と到着すると勝連、伊計沖などで釣り上げた魚の検量が行われ、各チームの一日の釣りの成果が集計されて、各賞が決定されました。

また、大会終了後には、同商工会が勝連地域の教育向上等を目的に収益金の一部から図書券を各小中学校へ贈呈しました。

昆虫展開催! みどり町1・2丁目 自主企画 8/20



▲ 見てみて!ヘラクレスオオカブトだよ。参加した子どもたちは大好きのカブトムシに大喜び

みどり町1・2丁目公民館において、夏休みの企画として、カブトムシやクワガタ、こども達に大人気のヘラクレス大カブトなどの標本の展示や、同区出身の松川朝敏さんによる飼育方法などの講座が開催され多くの区の子どもたちや家族連れが参加しました。

昆虫展を企画した宮城常秀自治会長は、「子どもたちに大人気の企画です。夏休みの自由研究の題材になれば嬉しいですね」と話しました。

